

S R O の 改 革 素 案 (SECコンセプトリリース)

		メリット	デメリット
①現状維持		<ul style="list-style-type: none"> ・金融イノベーションへの対応(市場を熟知したものが規制を行うというSROのメリット) 	<ul style="list-style-type: none"> ・規制の重複 ・複数のSROによるルール解釈・適用の齟齬 ・市場運営機能と規制監督機能の利益相反 ・取引所の株式会社化に伴う利益相反
②規制機能と市場機能の別会社化 例: NASD		<ul style="list-style-type: none"> ・利益相反の軽減 ・反競争的なルールの排除 	<ul style="list-style-type: none"> ・規制の重複 ・親会社の関与による利益相反
ハイブリッド型	③【ハイブリッド】 会員管理と市場管理を分離し 会員管理を中央SROが担う	<ul style="list-style-type: none"> ・検査の重複軽減 ・会員規制と市場規制の分離による利益相反の排除 ・市場管理と市場運営者が同一主体(SROのメリット) 	<ul style="list-style-type: none"> ・会員規制と市場規制の境界線の不明確さ ・市場管理と市場運営者による利益相反
	④【競争的ハイブリッド】 会員管理SROと市場管理SROを分離	<ul style="list-style-type: none"> ・現状体制からの移行がハイブリッド型よりも容易 ・会員管理SRO間の競争による規制コストの軽減 	<ul style="list-style-type: none"> ・規制の重複
⑤自主規制機能の一本化		<ul style="list-style-type: none"> ・規制重複の除去 ・利益相反の除去 ・SECの権限巨大化の回避 	<ul style="list-style-type: none"> ・SECのコピー ・市場の運営と管理が独立しておりSROのメリットの喪失
⑥SROではない統一的規制機関 例: PCAOB		<ul style="list-style-type: none"> ・ハイブリッドモデルの会員規制と市場規制の境界線の排除 ・各種利益相反の排除 	<ul style="list-style-type: none"> ・予算上の問題 ・金融イノベーションへの対応不備(SROのメリット)
⑦SROを廃止し、SECが全ての機能を担う。		<ul style="list-style-type: none"> ・業界利益偏重のクラブ的性格の除去 ・規制の重複の除去 ・市場運営と自主規制の併営に伴う利益相反の除去 ・SECの権限強化 	<ul style="list-style-type: none"> ・市場を熟知した市場開設者が規制を行うというSROのメリットの喪失 ・予算上の問題